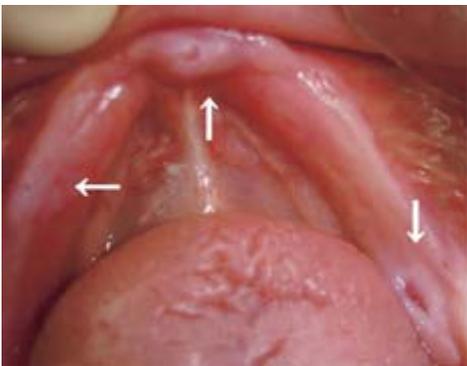


お口の健康

第29回 入れ歯による痛み

入れ歯を使用するようになると、入れ歯が当たって痛みが出る場合があります。この時、入れ歯が接触する歯ぐきや粘膜付近に、切れたような傷や白い口内炎のようなものができていることが多く、触れると痛みます。普通は入れ歯を外せば2〜3日で治りますが、入れ歯を調整しないで使うと、再び痛みが起ころのが普通です。傷に薬を塗っても効果は一時的で、調整せずに使う限り、傷の原因を取り除くことはできません。



(白い矢印) 入れ歯が当たって傷になったところ

作った時には調子良くても、暫くしてから噛み合わせの変化や歯ぐきの形が変化することで痛みが出てくることもあります。入れ歯が当たって痛い時、歯ぐきに口内炎

や潰瘍のような傷が見えることがあります。それらは入れ歯を調整することによって改善するものがほとんどです。入れ歯の調整では、単に痛い箇所を削るだけではなく、その原因となる噛み合わせや密着面の調整も同時に行ないます。全体的な噛み合わせのバランスが大事なのです。そのため、素人の方がヤスリ等で削ってしまうとよけいに合わなくなったり、破損の原因になったりします。ですから、入れ歯を使っている痛みが出たら、まずは歯科医院で確認してもらうことをお勧めします。

また、新しく入れ歯を作ったけれど合わないの古い入れ歯を使用しているという方を時々見かけます。入れ歯は、作ってすぐにピッタリ合うという訳ではありません。自分に合った噛み合わせや歯ぐきにあわせて微調整を繰り返して、本当の完成品になるのです。この微調整が入れ歯合わせの重要なポイントになります。せっかく作った入れ歯も、調整を十分に行わないと古い入れ歯の方が良かったということにもなりかねません。

尚、入れ歯の調整は歯ぐきの形や噛み合わせなどが個人によって異なるため、一度の調整で済んだり、数回の調整を繰り返す必要があったりと、かなり個人差があります。



湯沢市・雄勝郡
歯科医師会

ホームページ：
<http://www.yutopia.or.jp/~yoda/>